

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか				1	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか				1	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1 になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2				
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	2				
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2				
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2				
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	2				
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				2	
保護者 への 説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2				
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	2				
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	2				
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2				
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2				
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1			1	

	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2			
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2			
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2			
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	2			
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	2			
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1		1	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	2			
	23	事業所の支援に満足しているか	2			

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

事業所職員向け

児童

2019年4月

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		自分の好きな場所を見つけられるようにテントや特性に応じてパーテーションや段ボールなども使用しています
	2	職員の配置数は適切であるか	8		当日利用者の中でマンツーマンで支援が必要な児童・生徒数を前月から把握し職員の配置を整えています
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	6	賃貸物件により入口門扉に一段、室内は学習室・カームダウン室や、トイレに続く部屋移動に一段段差あり。指導訓練室は一面クッションフロアにしており児童・生徒の安全確保に努めております

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8		日々の清掃・消毒と温度・湿度の管理をしており、活動でレイアウトを変えられるように大きな動かさない家具等は置いておらず、活動によって工夫しております
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8		常勤・非常勤職員全員での情報共有と振り返り、結果報告をし合い意見を出し合っております 定期的なサイクルでなくても随時行えるように
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		保護者様にアンケートをお願いするなどし、結果を踏まえ業務につなげております
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		評価をきちんと受け止め、職員間で共有し話し合い対応をしていきたいと思っております
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	4	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		同じ課題で意見の交換等研修会をおこなっております
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		保護者様と児童・生徒のニーズとその意図も含めヒヤリングさせていただき、作成させていただいております
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8		使用しております
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		保護者様のご希望もご意見もいただき、児童・生徒の支援内容等を設定し、事業所の環境も重ね、具体的な支援内容とさせていただいております
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8		計画書を職員全員が把握し行われております
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		しっかりと意見交換をし、平日のプログラムと土曜日・長期休みのプログラムを分け季節も感じるイベントなども計画しております
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8		平日は大きくプログラムを変えず、毎週末は屋内活動も戸外活動も取り入れ、固定化しないようにもしておりますが、月に一度の継続したプログラムも取り入れております
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	8		特性・特長を配慮し作成しております
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		日々の朝礼での昨日の様子や気になる点、今日の注意事項等話を行っております	

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8		日々行っております
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		日々行っております
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8		行い、判断をさせていただいております
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8		児童発達管理責任者・管理者が主になり参画させていただいております
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		行っております
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教	8		関係機関との情報共有や、ケース会議等参加させていただいております
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連携	8		気になる所見があったり、容態に変化が見られた場合、保護者様とのお話合いにより、受診に同行をお願いしドクターにお話を聞かせて頂く場合があります
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		見学等させて頂いたり、担当者様との情報共有を行っております
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		教育機関との情報共有や、ケース会議等参加させていただいております
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けて	6	2	移行支援の際は、見学や担当者様からの引き継ぎ等行っております 研修など参加させて頂きたいと思っております
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	3	レクリエーションでは障がいのない子供も利用する公共の場への外出などあります 保育所や子供園・幼稚園などとの交流はありません
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加し		8	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		保護者様との情報共有や日々のご報告をさせていただいております
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っ	6	2	個別に相談を受け付け、親御さんの意見を聞き対応方法やサポートをさせていただいております	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		資料を用いてきちんと行っております
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8		同意をいただき進めております

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		日々行わせていただいております
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8		毎年6月に保護者会・茶話会を開催させていただきます
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		お電話・送迎時の対面のご相談や、連絡帳にてのお知らせ等広く受け入れ体制を整え、時にはご来所頂きゆっくりと時間をとり対応もさせていただきます
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8		毎月月初に「空通信」を発行し、先月の活動風景や来月の取り組み予定等発信させていただきます
	38	個人情報取扱いに十分注意しているか	8		保護者様にも書面でお伝えし、注意しております
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8		発語が難しいと感じる児童・生徒に関しては図柄や感情表現している絵などを使用し支援につなげております
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	8	まだ取り組みができておりません、この取り組みに賛成の保護者様ばかりではないので、しっかり話し合い決めていきたいと思います
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8		マニュアルを設け、保護者様にも配布させていただき、発生や蔓延情報をいち早くキャッチしお知らせをさせていただくと共にマニュアル再確認と消毒を徹底しております
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		半年に一度消防車に来ていただき、毎回出火場所等変えてどのように避難するのか、特性や特徴で訓練に参加できない児童・生徒の避難の仕方等再確認しております
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8		保護者様との確認事項をしっかり整え、服薬が変わればすぐにお知らせを受けられるよう整え、緊急カードも整えております
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	3	医師の指示書がないお子様なのですが、アレルギー検査の結果はしっかり周知し、程者様の指示に従い対応をさせていただいております
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		ヒヤリハットは職員共有し、予測事項としても捉え支援に活かしております
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1	虐待についてしっかり周知し、お預かり児童・生徒が虐待を受けていないかの認識も持ち支援にあたります
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8		身体拘束はございませんが、情緒が乱れている児童・生徒に関しましては、他のお友達を傷つける行為に至らぬように手をつなぎカームダウン室へ向かったりその場で抱きしめて背中をさすり気持ち落ち着かせたり、どうしても力が抜けない場合などは抱きかかえて場所移動等行う事がある旨も保護者様に書面でお伝えしご理解をいただいております